

ハンドボール No. 29

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	九州大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input checked="" type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	ウ
----------	---

年月日	2018年 9月 13日 (木)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公 式 記 録 用 紙

A		大阪府										愛知県				B
福井県		永平寺町			北陸電力福井体育館フレアコート										1回戦	
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC		A	B	
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT得点/総数					
	2/2	1	2 後 3	07:09			1	2 後 3	16:04 12:15 22:50		0/0					

No.	大阪府	G	W	2'	2"	D	DR	No.	愛知県	G	W	2'	2"	D	DR
1	泉 幸歩							1	白築 麗子						
2	森 優稀	5						2	杜氏 千紘	4					
3	水田 亜莉沙	5	1					3	宇野 史織						
4	三原 綺乃	1						4	徳永 千紘	3	1	1			
5	川崎 美穂	2						5	笠原 有紗	2					
6	永塚 梓	2	1					6	丸山 紀子	2					
7	藤井 紫緒	2						7	吉田 千紘						
8	田中 美音子	1						8	竹内 里奈	1					
9	平田 ほのか	2						9	綿引 彩恵	2					
10	古川 麻衣子	3						10	水谷 百香	6					
11	備間 晴香	2						11	安齋 早紀	3					
12	齋藤 佳織							12	瀧澤 瞳子						
役員A	中村 博幸							役員A	新井 翔太						
役員B	緒方 嗣雄		1					役員B	田中 俊行						
役員C	花野 相三							役員C	菅谷 美奈						
役員D	中久保 裕美							役員D	淺井 優季						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	青木 忠久	原口 佳也		
TD	古矢 勲	酒谷 信彦		
JHAオフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハニボール No. 50

第7.3回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9 / (13日(木))・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	C-U
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
大阪府			愛知県		
得点合計	小計		小計		得点合計
25	8		10		23
	17		13		
			前半		
			後半		
			第1延長前半		
			第1延長後半		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大会1日目。成年女子の1回戦。好カードとなる大阪府と愛知県の対戦は、最後までつれる接戦となった。序盤、愛知⑩水谷のカットイン、⑩安齋の連続得点でリードしたものの、すぐに大阪府⑨平田、③水田、②森が連続得点し、逆転した。その後はこう着状態が続き、14分で4対3と大阪1点リードとなった。その後、大阪③水田の連続得点により3点差となり、そのまま大阪優位に進むかと思ったが、愛知⑩水谷、②杜氏が得点し、22分過ぎに6対6に追いついた。その後は一進一退の攻防となったが、シュートが枠を捉えることができなかった大阪に対し、愛知は④徳永、⑩水谷、②杜氏が着実に得点を積み重ね、前半を10対8の愛知リードで折り返した。

後半に入って、大阪はDFシステムを0:6DFから1:2:3DFに変え、速攻を主体としたシステムへと切り替え流れを掴もうと試みるが、得点を取り合うシーソーゲームが続き、11分で15対12の愛知県がリードしたままとなった。しかし、大阪1:2:3DFが徐々に機能し始め、15分過ぎに大阪⑥川崎の速攻により逆転、17分過ぎには⑨平田の7mTにて2点差を広げた。追う愛知県は④徳永、⑩安齋などで反撃を試みるも、大阪も⑩古川、⑩儀間、ベテラン⑧田中が着実に点数を重ね25対23で大阪府が勝利し、1回戦突破した。

記載者氏名	山口 功治
送信日時	月 日 ( ) :
送信者署名	